

# 歌舞伎は私たちの宝物

= 住民手作りの高野農村歌舞伎 =



## 津野町高野地区

- 高野地区は、高知市から北西へ約75キロ。津野町の西端に位置し、国道197号沿いの戸数70戸、人口140人ほどの小さな集落。



# 国指定重要有形民俗文化財 高野の舞台

## 日本に現存する唯一の鍋蓋上回式舞台



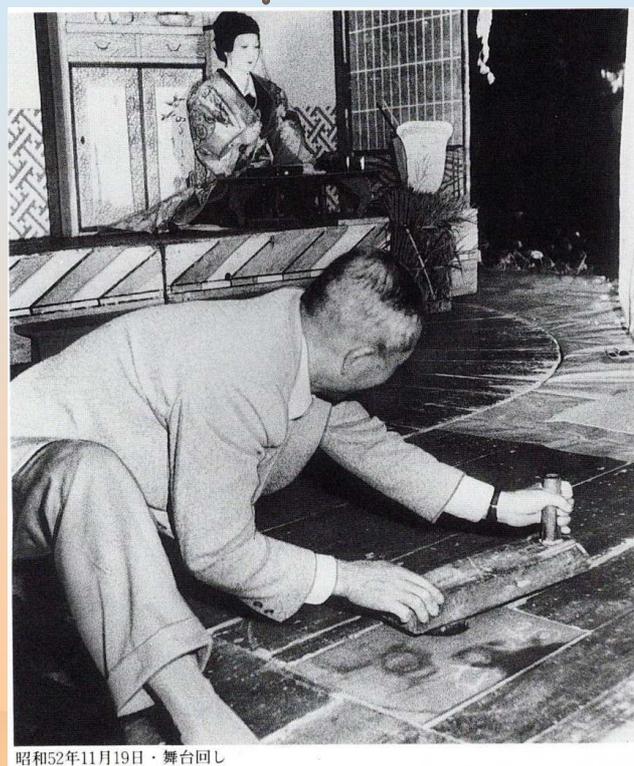
### 文化財指定を機に、20年ぶりに復活

昭和52年11月（1977）

私...



昭和52年11月19日・農村歌舞伎(高野)



昭和52年11月19日・舞台回し

復活以来4年に一度 地区民手作りの農  
歌舞伎が開催されている。



地区民総出のの舞台づくり



山から小枝を切り出し、ベテラン達の熟練した技





作業の合間に・・・  
マスコミ取材で  
仮メイク



適当にしゃべって！

にわか役者もえ  
えとこじゃに・・・

準備万端！



練習開始

まずは、セリフ  
の読み合わせ



# 三味線組も練習開始



高知新聞  
幕末維新傳  
時代は土佐の山崩より

演題

場所

日時

高野農村歌舞伎「復活四十年記念」

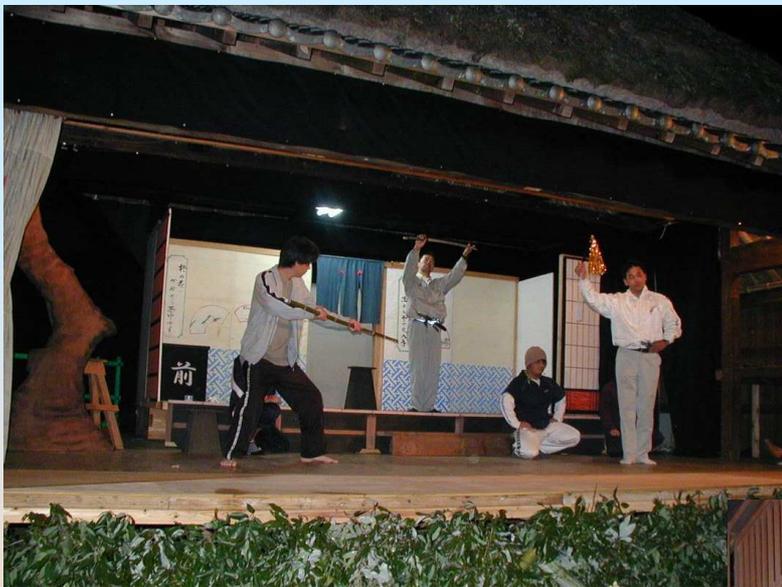
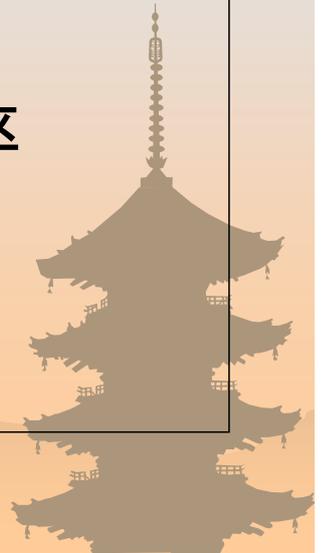
平成二十九年十一月十一日  
午後五時三十分(入場無料)  
高野の廻り舞台  
〔国の重要有形民俗文化財〕  
高知県 高岡郡 津野町 高野  
浄瑠璃式三番叟  
虎太郎魁大和錦  
神靈矢口渡  
義経千本桜  
大夫・竹本美園 振付・中村和子  
下座音楽・望月左喜三郎

◆ 国選定重要文化的景観「四万十川流域の文化的景観～源流域の山村～」地域  
主催：高野農村歌舞伎保存会、高野地区  
共催：津野町教育委員会  
助成：高知県芸術祭助成事業「K O C H I ART PROJECTS 2017」  
【お問い合わせ】 ☎(0889)62-2258 津野町教育委員会へ  
昭和52年11月19日・農村歌舞伎(高野) 復活初年演目：太閤記

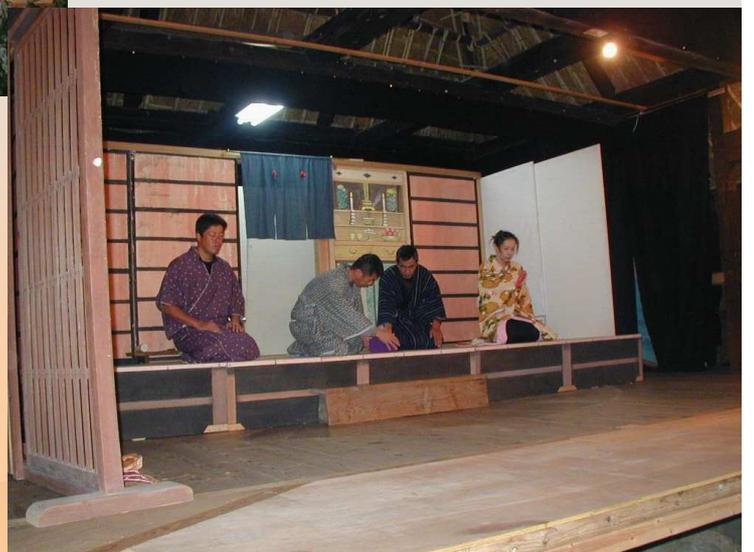


# 高野農村歌舞伎公演

- ❁ 日時 : 2017年11月11日(土)  
午後5時30分～
- ❁ 場所 : 津野町高野 国指定重要有形  
民俗文化財「高野の舞台」
- ❁ 主催 : 高野農村歌舞伎保存会・高野地区
- ❁ 協賛 : 津野町教育委員会
- ❁ 助成 : 高知県芸術祭「KOCHI ART  
PROJECTS 2017」



練習にも熱が  
入ります



# 衣装を着けて本番さながら！



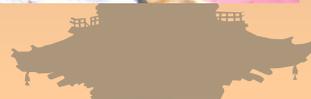
焚火を囲みながら  
の練習は深夜に及  
ぶことも・・・



# いよいよ本番



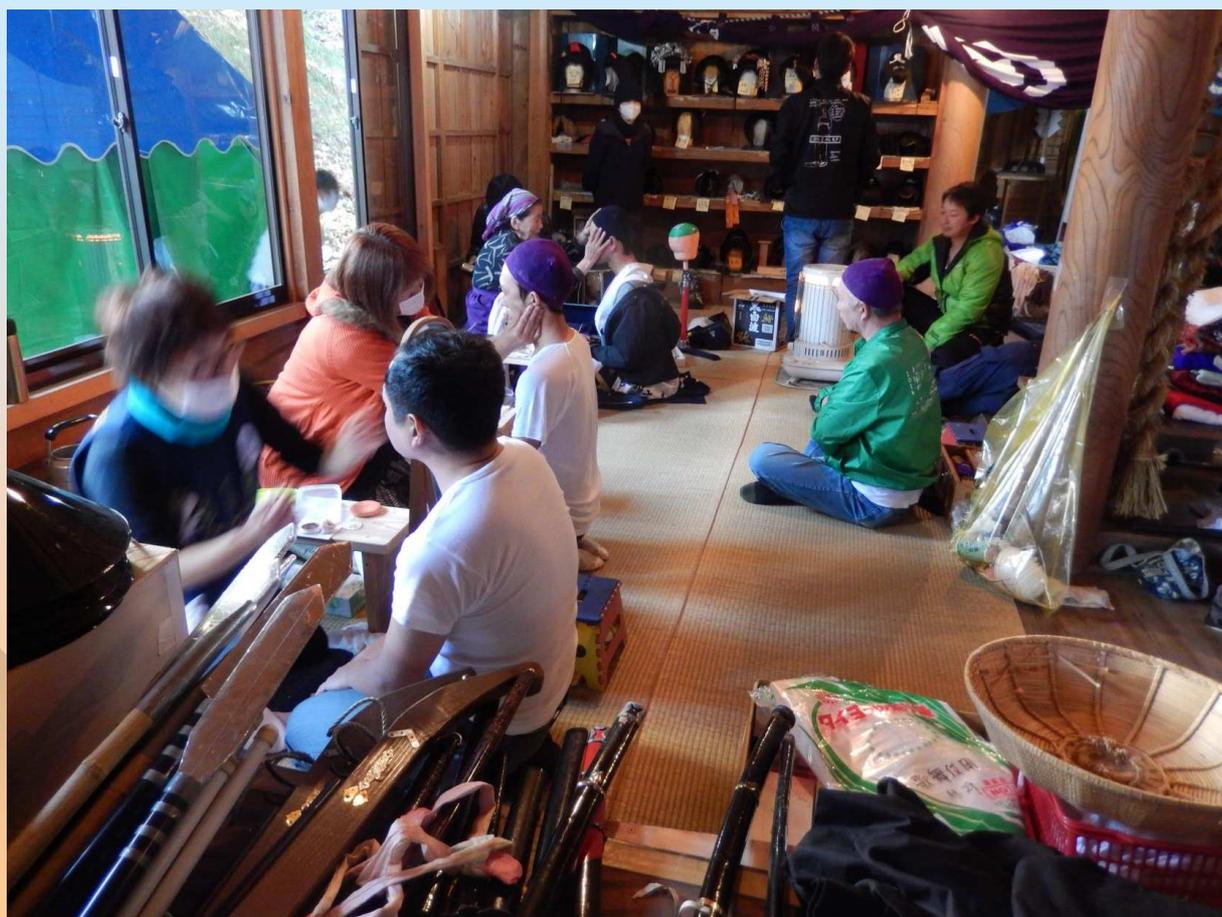
早くから場所  
取りが・・・



# 楽屋は衣装でいっぱい



役者は朝から化粧や衣装合わせ。緊張しっぱなし





## 観客も超満員



一杯やるか  
!

オープニングは  
浄瑠璃式三番叟



子供(2才)から～大人(67才)まで頑張りました。





役者と観客が一体になって・・・



婦人会も側面から応援。

寒い時は  
しし汁が最高！



# 歌舞伎公演を振り返って

- ❁ 入場者数 : 約500人
- ❁ 事業内容 :
  - ・4年ぶりの開催。
  - ・復活40年記念 (S, 52年～)
- ❁ 演目 :
  - 「浄瑠璃式三番叟」
  - 「虎太郎魁大和錦」
  - 「神霊矢口渡」
  - 「義経千本桜」

## 成果

- ❁ 観客席……野外(三嶋神社境内)だったが、早くから場所取りをするなど、注目度が高かった。
- ❁ 役者や裏方など、そのほとんどが素人の高野地区民だが、経験者が多く、ユーモアを交えたセリフに観客から笑い、歓声があがり、迫真の演技に観客を魅了、涙を誘う。
- ❁ 晴天に恵まれ、会場は熱気に包まれた。
- ❁ 復活40年記念であったため、普段より一演目多い4演目を上演。
- ❁ 特に、オリジナル歌舞伎「虎太郎魁大和錦」では観客をくぎ付けにし、感動を与えた。

## 反響（観客の声・・・声）

- 東京から来られた方・・・「素人じゃないみたいで完成度が高い。役者さんの努力が見えて感動した。」
- 4年に一度と言わず毎年見たい。
- 子供から大人まで熱心に演じられ感動した
- このことが、将来にわたって受け継がれていくことになる。
- 大変寒かったが、素晴らしい演技に感動した。
- 虎太郎のことは、歌舞伎だけではよくわからなかったが、そばに地元の方がいて説明してくれたおかげで、どういう場面がよくわかった。



## 良かった点

- 企画～準備
  - ・H29、1、15 地区総会で開催日時決定
  - ・9月より練習開始(1演目週2日)
- 実施当日
  - ・天候に恵まれ、約500人の観客動員。
  - ・無事故で終了。・経験者が多く、お互い励まし合って、良い雰囲気での演技できた。
- 実施体制
  - ・主催 : 高野農村歌舞伎保存会・高野地区  
(地区民全員が保存会員という立場)  
(地区行事としての体制。)
- その他・気づいたこと
  - ・客席と舞台(役者)の一体感があった。



# 苦勞した点・反省点

## ● 企画～準備

- ・各自が仕事を終えて、19時から練習開始。時には深夜に及ぶことも・・長丁場にわたり、精神的にも疲れることになった。そういった面で、家族の理解や協力なしでは成り立たない面もあった。特に初心者にとって、独特のセリフ回しや演技等を覚えるのに苦勞した。

- ・雨の中での舞台づくり……

## ● 実施当日

- ・上演時間が夜間で、その上客席が野外のため、寒い思いをした方が多かった。
- ・開催時期を早めにした方が良かったかも？

## ● 実施体制

- ・役員の気苦勞は大変なものがあった。



オープニングは  
浄瑠璃式三番叟

大入り満員で  
熱気むんむん



神靈矢口渡



義経千本桜

保存会長の  
見事な演技





虎太郎魁大和錦

◎特別出演  
北海道訓子府町  
菊池町長  
津野町 池田町長も  
熱演



クライマックスシーン！

観客の涙を  
誘う





尾崎知事も駆けつけて  
下さいました。

ご盛況おめでとう  
ございます。  
私も出たかった！



ありがとうございました



地域の未来を考える。  
地域の社会を支え合う。

## 《リ・デザイン プロジェクト》

はじめます。

地域に飛び込み、地域から学ぶ。

私たち高知県立大学は、前身である高知県立女子医学専門学校の開校以来79年にわたり、この矜持をもって教育研究に取り組んできました。

そしていま、2024年。

私たちが暮らす日本は、そして高知県は、急速に進む人口減少や少子高齢化の中で社会構造や社会基盤そのものの**根本的な変化**を必要としています。

これから先の未来にむけて、人々の暮らしや働き方はどうあるべきなのでしょう？

地域のコミュニティはどのように変化していくべきなのでしょう？

地域に飛び込み、地域の人たちと共に地域での活動を続けてきたからこそ、私たちは思うのです。

地域の未来を描くためには、地域を支えるさまざまな立場の**人々がつながり合い**、地域に山積する課題を共に乗り越え、**地域を再構築(リ・デザイン)**していくことが大切だと。

そして、その先にこそ新しい時代にジャストフィットするような暮らし方や働き方、地域のコミュニティのあるべき姿がきっと見えてくるはずだと。

もっとたのしく、もっといきいきと幸福に生きていけるように。そのために、もっともつつながりを大切にしたい。

私たち高知県立大学は、《高知型地域共生社会》の一員として、大学という特徴を生かし、これからも**地域や人々とつながり続けていきたい**。そんな想いをこめて、これからの10年、その先の未来に続いてゆく私たちの活動を「**リ・デザイン プロジェクト**」と名付けました。

# 高知県立大学。 ずつと、 つながる、



夢見る学長



高知県立大学  
University of Kochi